

For Discussion Purpose Only

Wellbeing-Based Policy Design (WBPD)

OASIS研修 成果発表

所属組織名： 加古川市1班



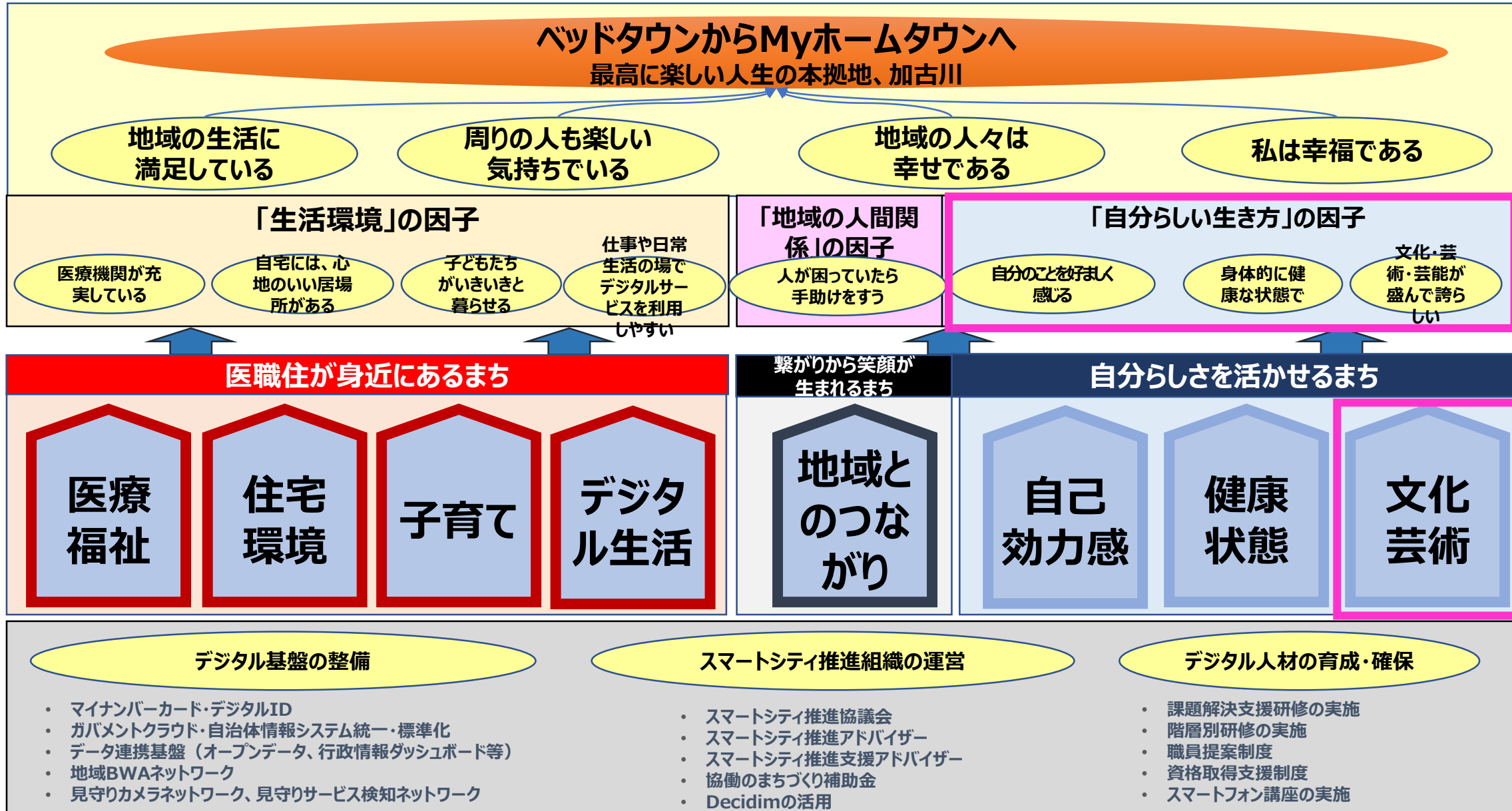
加古川市 まちの魅力発信
キャラクター
かこのちゃん © 加古川市

加古川市が実践すべきウェルビーイング政策の全体を整理した「統合マップ」

ウェルビーイング・インパクトの視点

政策の視点

デジタルと人の共創基盤の視点



ベッドタウンからMyホームタウンへ 最高に楽しい人生の本拠地、加古川



南部に工業地域があり、阪神間にも交通の便が良いことからベッドタウンとして今も人気のある街。単に就寝するためだけの街じゃ、もったいない。仕事、学業、生活などの活動を頑張った人たちが余暇に羽を伸ばせる憩いの場、市外の人たちに誇れるまちづくりを共に創り上げていく街を目指す

医職住が身近にあるまち



生活を営むうえで必要な医療機関、仕事先、住宅の交通アクセスが良く、安心して暮らせるまちづくり

**つながりから笑顔が
生まれるまち**



ポジティブな地域活動が、人と人をつなぎ、つながりから笑顔があふれ、笑顔が人を元気にする。地域力が誇りと生きがいを生み出していくまちづくり

自分らしさを活かせるまち



それぞれの立場、能力、趣味嗜好にマッチした活躍、娯楽のコミュニティがあり、この街に住んで良かったと実感できるまちづくり

市民のウェルビーイング向上のために注力すべき8つの政策領域の選択理由

政策領域① 医療・福祉

客観偏差値と比較して主観偏差値が低いため、状況を周知するとともに、人口動態の変化に伴った将来の医療・介護ニーズを見据えた施策誘導が必要。

政策領域② 住宅環境

近隣の市と比較して、若い世代の主観偏差値が低く年齢とともに高くなる傾向を強みとして、定住地として選ばれる施策展開が必要。

政策領域③ 子育て

客観・主観偏差値のどちらが高いかは自治体ごとに異なっており、他自治体との施策差を調査し、切れ目のない施策展開とイメージ戦略の両側面からのアプローチが必要。

政策領域④ デジタル生活

幸福度や生活満足度との相関が現れにくいのでは。社会課題の解決を行うことで効果の実感につなげる。

政策領域⑤ 地域とのつながり

偏差値の高さは定住地としての強みであるものの、従来型コミュニティの衰退が懸念されるなか、参加者の日常的な楽しみや豊かな人生につながるポジティブな地域活動を促進する施策展開が必要。

政策領域⑥ 自己効力感

幸福度、生活満足度と相関があり、主観・客観偏差値が高く強みである。世代ごとの状況や自己効力感が低い要因等を詳細に分析し、特に将来を支える若い世代への施策介入が必要。

政策領域⑦ 健康状態

幸福度と相関があり、主観偏差値が低い。個人任せ的なところもあり、施策介入が十分とは思えず可能性がある。他施策(医療・介護、地域とのつながり、自己効力感など)との関連も強いと思われる。

政策領域⑧ 文化・芸術

幸福度、生活満足度と相関がありながら主観・客観偏差値が低く、人材をはじめとした資源の発掘・有効活用と、世代ごとのニーズを包摂した施策介入が必要。

8政策領域のうち、最も重視する政策に関するペルソナ・ロジックツリー



【文化・芸術】
文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい

音楽に目覚めかけの
中・高校生

- ・楽器を買うお金がない
- ・練習や発表の場がない
- ・練習方法がわからない
- ・同じ趣味の仲間を探せない

活動する場
がある

ネットワークを
構築できる

これといった趣味がない
定年退職者

- ・退職後に話し相手がない
- ・時間を持て余している
- ・生活にメリハリがない

趣味を作る
場所がある

家族以外の話
し相手がいる

音楽の道で人生を歩もうと
夢見たことのある大人

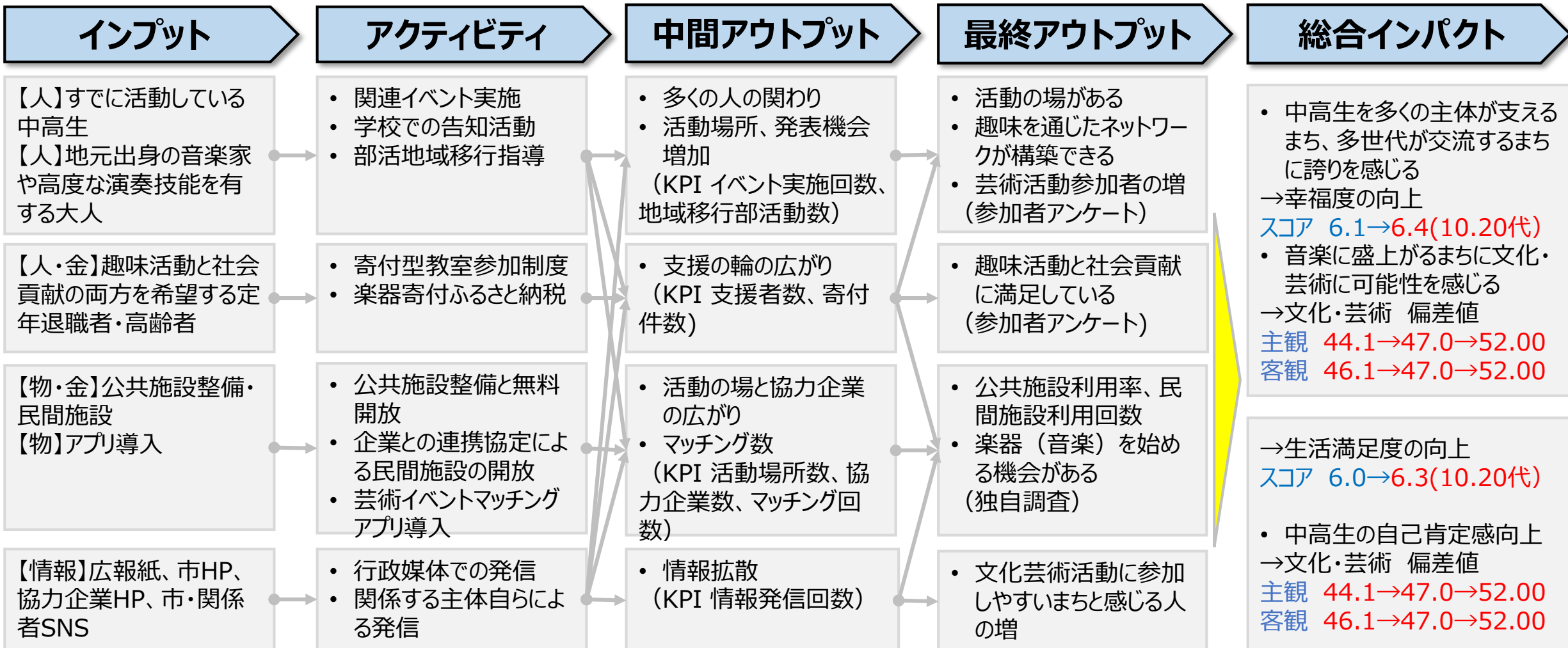
- ・自分の夢をつなげたい
- ・あの頃の輝きを思い出したい
- ・社会に貢献したい

音楽指導でき
る場所がある

能力を活かして
社会貢献できる

【文化・芸術】文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい 【ペルソナ】音楽に目覚めかけの中高生

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器を買うお金がない ・練習や発表の場がない ・練習方法がわからない <p>楽器を教えてもらったり、一緒に練習したり、できた仲間と発表する場がほしいが、一歩を踏み出す方法がわからない。</p>	将 来 像	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで活動・発表の場をプロデュースできる。 ・世代・趣味を超えたネットワークが構築され互いに支え合っている。 ・次の世代にプラスのサイクルを引き継いでいける。
----------------	---	----------------------	--



今後、市が導入すべき「ウェルビーイング指標システム」

【属性データ】

- 性別
- 年齢層
- 居住地区
- 持家、賃貸
- 市内居住年数
- 家族構成
- 職業
- 勤務先地区
- 交通手段
- 趣味

【ウェルビーイングデータ】

- 主観データ
 - ・ 市民満足度調査
 - ・ LBC指標
 - ・ アンケート(イベント・施設)
- 客観データ
 - ・ LBC指標
 - ・ 統計データ

【分析枠組み・指標】

- 階層型 + 並列型
 - ・ 相関分析
 - ・ 回帰分析
 - ・ ロジックツリー
 - ・ ロジックモデル

【分析結果】

- 自治体全体
 - ・ 幸福度
 - ・ 生活満足度
 - ・ 地域力
- セグメント・ペルソナ別
 - ・ 幸福度
 - ・ 生活満足度
 - ・ 地域力

X

X

⇒

市が導入すべき「ウェルビーイング指標活用プロセス」

【市民参加】

- 市民満足度調査
- アンケート
- イベント、部活動
- Decidim



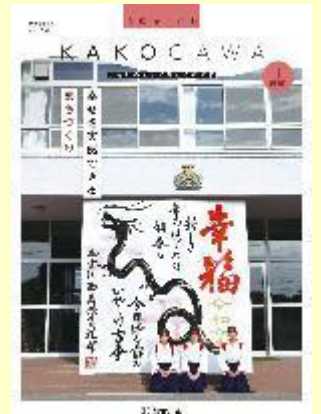
【人材育成】

- 庁内職員講座
- 市民講座
 - ・自分への生涯学習講座
 - ・他者への講師養成講座



【報告・モニタリング】

- 広報、SNS、HP
- 記者会見、プレスリリース
- ダッシュボード
- 市民満足度調査
- 地区別行政懇談会
- 庁内会議
- 審議会、有識者会議
- Decidim



X

X

市独自の質問項目や客観指標として追加すべきもの（セカンドレイヤー）

【市独自の質問項目として追加すべきもの】

● 中高生への質問

- 文化・芸術活動に1か月に何回程度参加していますか
- どのような時に生きがいを感じますか（どのような時の自分が好きですか）
- なりたい将来像がある

● 市民への質問

- あなたのまちでは文化・芸術活動に参加しやすい環境が整っていますか
- 文化・芸術活動に参加するには何が必要ですか
- 自分の音楽を披露できる場所がある。
- 仕事、学業以外にも生きがいを感じる時がある。
- 職場、学校、家族以外に楽しく会話できる人がいる。
- 家族以外に大切にしている人がいる。

【市独自の客観指標として追加すべきもの】

- 文化・芸術関係の中高部活動数
- 文化・芸術関係の市民活動団体数
- 文化・芸術関係の仕事に従事する市出身者数
- 文化・芸術関係のイベント数
- 文化・芸術関係で収入を得ている住民数
- 音楽関係の部活動(含サークル、クラブ活動)指導者数
- 年間の音楽関係イベント数
- 市出身者が加入するアーティストのオリコンランキング100位以内数
- 音楽（文化）教室数